

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【原山小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<p><学習上の課題> 基礎的・基本的な学力は全体的に定着しているものの、R6市学習状況調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」において定着度に若干課題がみられた。</p> <p><指導上の課題> 定着度に個人差があり、児童個々への対応を効果的に進め、定着度の差をできるだけ少なくしていく必要がある。</p>	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリやドリルパークなどを活用し、課題に関連した問題に繰り返し取り組む機会を設ける。【業前学習、家庭学習等で実施】 ・スクールダッシュボードの学習履歴を活用したり、SA等による個別指導を行ったりと、学習の個別最適化を図る。【月1回以上指導方針を確認】
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> R6市学習状況調査では、国語の「話す・聞く」「書くこと」において課題が見受けられ、思考を深めるためにも資質の向上が必要である。</p> <p><指導上の課題> 学校課題研究のテーマである「自ら考え、協働的に学ぶ児童の育成」を目指す上で、児童が主体的に学習に取り組めるような学習過程をより一層充実させる必要がある。</p>	<p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の中にICTでの共同編集を位置付けたり、小集団での話し合い活動を取り入れたりするなど、協働的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする。【単元ごとに確認・学校課題研究に係る学年・ブロックでのふり返し等での確認】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> ①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)